

「離島の再生」 廃校校舎をアワビ・ナマコの水産研究施設に転用 (八幡浜市)

【取組概要】

高齢漁業者を対象とした水産業の振興に取り組むため、高齢者が操業する際、比較的危険が少ない、アワビやナマコといった磯根資源の養殖研究施設を整備。施設整備にあたっては、廃校校舎を利用することで、低コストでの施設整備と地元漁業者が利用しやすい環境づくりを実現。

人口 38,400人

担当部署 産業建設部水産港湾課

【取組みの効果】

上屋の建設費用が不要となったことや各種補助金等を有効活用したことにより、施設建設に要する費用の大幅な削減が図れた。施設は24年夏から供用を開始しており、効果的な運用を期待。



(廃校校舎)



(アワビの飼育状況)

【他団体へのアドバイス】

遊休公共施設を活用する際には、補助金の返還や使用目的の説明等、他部署や他機関と調整すべきことが多いため、関係機関と連携を密にしながら協議・検討を進めていくことが重要。

【創意・工夫した点】

遊休施設の活用によるイニシャルコストの軽減、離島の豊富な地域資源と経験豊かな人材の活用、有利な補助制度や起債の有機的な組み合わせによって、高齢化の進む離島に適応した新たな産業振興の形を創出。